徳島新聞　2018年（平成30年）2月6日　火曜日

富岡東2年ぶり栄冠

女子団体

剣道

四国高校新人大会

剣道の第18回四国高校新人大会は3、4の両日、鳴門アミノバリューホールで団体と個人戦が行われ、徳島県勢は女子団体の富岡東が2年ぶり6度目の優勝を飾った。

◇徳島県関係と決勝（個人は上位のみ）

【男子】団体予選リーグA組④富岡東3敗▽B組④徳島科技3敗▽C組④城北3敗▽D組④阿南工3敗＝いずれも予選敗退。

▽決勝トーナメント決勝　明徳義塾（高知）2－0高知商

明徳義塾は5年ぶり8度目の優勝。

▽個人準々決勝　藤田（土佐塾）メー　服部（富岡西）、東野（高知）メー　片岡（徳島文理）

▽決勝　片山（新田）コー　藤田

【女子】団体予選リーグA組④川島3敗▽B組③富岡西1勝2敗▽C組①富岡東3勝▽D組④城ノ内3敗＝富岡東が予選突破。

▽決勝トーナメント準決勝

富岡東　1－1　済美（愛媛）　代表勝ち

朝田　メーメ　市川
堀出　ード　吉田○
○明口　メー　靏田
堺　ー　友近
大城　メード　上杉

▽代表戦

○大城　メー　友近

▽決勝

富岡東　1－1　帝京五（愛媛）　代表勝ち

朝田　ー　須浪
堀出　コーメコ　奥田○
明口　ー　内海
堺　ー　西原
○大城　メー　前田

▽代表戦

○大城　メー　前田

▽個人準々決勝　佐竹（高知）メー　朝田（富岡東）▽決勝　渡邊（松山北）メー　前田（帝京五）

高い集中力で延長制す

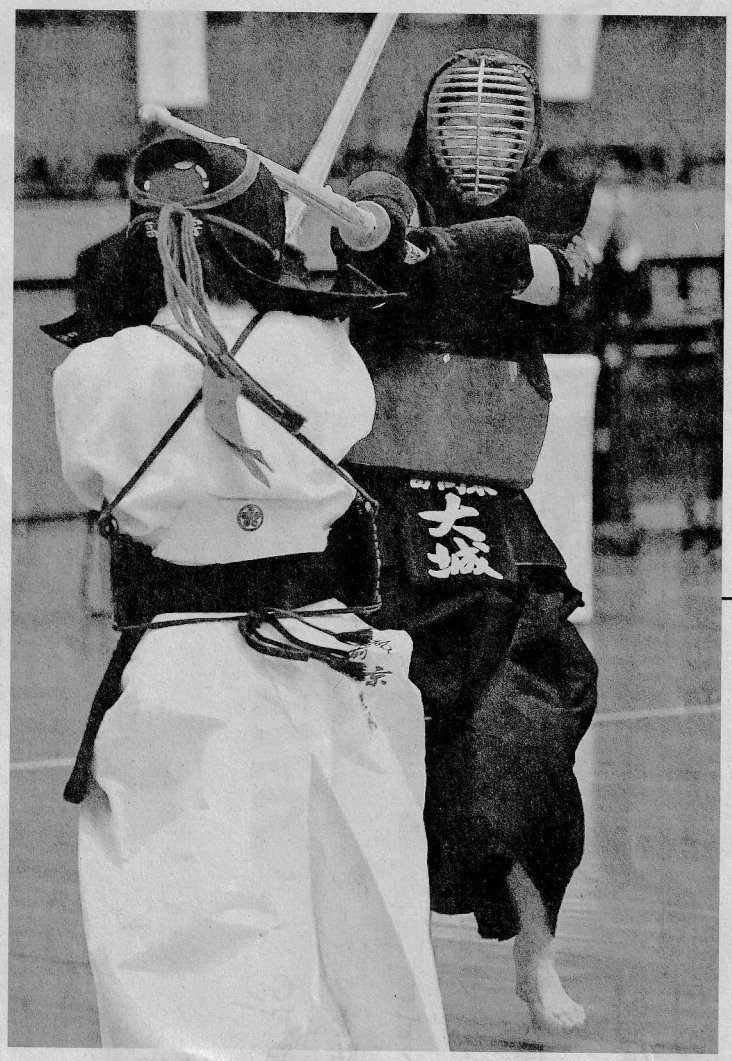
主将・大城

女子団体の富岡東は大将の大城が2試合続けて代表戦を制し、チームに2年ぶりの栄冠をもたらした。長井監督は「回せば何とかしてくれる。さすがはキャプテン」と強い信頼感を口にした。

決勝の帝京五（愛媛）戦は副将戦を終えて0－1。引き分けも許されない中、開始10秒の引きメンで一本勝ちした。代表戦ではツキを果敢に繰り出して攻勢を緩めず、相手がひるんだところで飛び込みメンを決めた。

済美（愛媛）と戦った準決勝の代表戦でも高い集中力が光った。約9分間にも及んだ延長戦。長いつば競り合いの末、コテ返しメンで有効打を奪った。チームリーダーにふさわしい活躍を続けた大城は「前を戦うみんながつないでくれたおかげ。1人の力ではない」と繰り返し強調する。

決勝トーナメントで2戦とも引き分けた副将の堺は「次は絶対に勝って大将を楽にしたい」。薄氷を踏む2連勝で、チームの絆は一層強くなった。（阿部研一）



女子団体決勝・大将戦で攻める富岡東の大城
＝鳴門アミノバリューホール（山田旬撮影）